

資料編

「熟議 2014 in 兵庫大学」 開催結果

1.日 時 . . . 平成 26 年 11 月 24 日 (月) 13 : 00~17 : 00

2.場 所 . . . 兵庫大学 (加古川市平岡町新在家 2301)

3.主 催 . . . 兵庫大学・兵庫大学短期大学部

4.共 催 . . . 加古川市

5.参加者数

・一般参加者	92 人 (内、学生 18 人、高校生 33 人)
・傍聴参加	33 人
・学生ファシリテータ	14 人
・司会者 (学生)	1 人
・記録係 (職員)	14 人
合計	154 人

6. 熟議プロジェクトメンバー

田端 和彦 吉原 恵子 北島 律之 森下 博 木下 幸文
久井 志保 小林 洋司 井上 朋子 副島 義憲 柏村 裕美

7. 後援

兵庫県、兵庫県教育委員会、高砂市、稲美町、播磨町、
加古川市教育委員会、高砂市教育委員会、稲美町教育委員会、
播磨町教育委員会、(公財) 兵庫県生きがい創造協会、
神戸新聞社

8. 実施風景写真



主催者挨拶



共催者挨拶



全体会の様子



WSの様子



WSの様子



討論会の様子



討論会の様子



閉会式の様子

以上

自己認識シート(事前評価)

学校名		
科・コース	学年	年
氏名		

※下記に示された各能力に対し、今のあなたに当てはまると思われる「④レベルの欄」の1～5を○で囲んでください。

①能力	②能力の説明	③「できること」の具体例	④レベル				
			かなり自信がある	自信がある	ふつう	あまり自信がない	まったく自信がない
自主性	物事に進んで取り組む力	<input type="checkbox"/> 自分の目標や課題を定め、進んで取り組むことができる <input type="checkbox"/> 物事に対して、興味や関心をもって意欲的に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 困難なことでも前向きに取り組むことができる	5	4	3	2	1
思考力	問題の要点を把握して、根拠をもとに論理的に考える力	<input type="checkbox"/> 現状を正しく理解するための情報収集や分析ができる <input type="checkbox"/> 物事の原因と結果を区別したり、問題の背景を考慮することができる <input type="checkbox"/> 問題を解決するために見通しをもって、順序立てて考えることができる	5	4	3	2	1
実行力	目標に向かって行動する力	<input type="checkbox"/> 自分の考えをもち、それらを確実に実行することができる <input type="checkbox"/> 設定した目標達成に向けて粘り強く取り組むことができる <input type="checkbox"/> 困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる	5	4	3	2	1
対応力	状況を判断して関係や流れがうまくいくように行動する力	<input type="checkbox"/> 相手やその場の状況を配慮しながら、柔軟に対応することができる <input type="checkbox"/> 自分の役割と他者の役割を的確に判断し、取り組むことができる <input type="checkbox"/> 物事が良い方向に流れるよう、まわりに働きかけることができる	5	4	3	2	1
交渉力	人との関わりを踏まえ、働きかけて相互理解へ導く力	<input type="checkbox"/> 取り決めのための話し合いの場を持ち、合意をめざすことができる <input type="checkbox"/> 協力することの意義や理由を、相手に対して明確に伝えることができる <input type="checkbox"/> 周囲の人に対して効果的に働きかける手段を活用できる	5	4	3	2	1
会話力	相手と意思疎通(そつう)を図る力	<input type="checkbox"/> 自分の意見を具体的にわかりやすく伝えることができる <input type="checkbox"/> 相手の意見を丁寧に聞き、素直に受け止めることができる <input type="checkbox"/> 相づちや共感により、相手に話しやすい状況を作ることができる	5	4	3	2	1
計画力	現状を把握し、解決に向けて筋道を立てる力	<input type="checkbox"/> 実現のために段階ごとになすべきことを把握することができる <input type="checkbox"/> 作業の過程を明らかにし、優先順位をつけて計画を立てることができる <input type="checkbox"/> 必要に応じて他者の意見も積極的に計画に取り入れることができる	5	4	3	2	1
規律性	社会のルールや人との約束を守る力	<input type="checkbox"/> 社会のルールやマナーの必要性を理解し、それを守ることができる <input type="checkbox"/> 他者に社会のルールやマナー、また約束を守るように促すことができる <input type="checkbox"/> 異なる立場を理解しながら社会のためのルールや約束を結ぶことができる	5	4	3	2	1
運営力	違う立場の人々の集まるチームを適切に運営する力	<input type="checkbox"/> 自分の意見をもちつつも、他者の意見や立場も理解することができる <input type="checkbox"/> チームの目的を明確にして、メンバーに働きかけることができる <input type="checkbox"/> 異なる立場の人々とも力を合わせて物事を達成することができる	5	4	3	2	1
貢献性	社会の担い手として役割を自覚して、参画する力	<input type="checkbox"/> 地域や社会に参画することの意義や役割について理解している <input type="checkbox"/> 地域や社会に参画して、自分の役割を果たそうとする意志がある <input type="checkbox"/> 地域や社会の担い手として、使命感をもった取り組みができる	5	4	3	2	1

熟議に参加される皆様へ

まずはこの書類（資料A）をお読みください。

「熟議 2014 in 兵庫大学」の進め方

熟議はなぜ必要なのでしょうか？

「熟議 2014 in 兵庫大学」にご参加いただき、ありがとうございます。

参加される皆さまの多くが、実は、はじめて「熟議」という言葉をお聞きになったのではないのでしょうか。「熟議」という言葉は、熟慮と議論を併せた言葉です。

なぜ「熟議」は必要なのでしょうか。

日本では、選挙で国や地方の代表者を選ぶことにより、社会を動かし、政策を進めています。国会では私たちの代表者が議論を交わし、また市や県でも、選挙で選ばれた議員と市長・知事が議論を交わし、よりよい社会のための活動を行っています。これを政治と呼んでいます。

しかし、自分たちが生活をする小さな地域（コミュニティ）のことについて決めたり、課題を解決したりするには、今の政治の方法だけでは難しいのです。

こんなことを想像してください。

家の近くの道路に穴があいていて危ない状況です。地元の市役所（役場）に電話をして直すようお願いをしました。しかし、市役所（役場）からは「ほかにも、穴のあいている道路があって、どこを先に直すべきかわからない」との返事。道路を直す予算が少なく、どこを優先すべきか、ルールを政治や行政では決められないようです。この時、住民たちは、市役所（役場）に頼らずに、自分たちで道を直すことにしました。政治や行政に頼らない方法ですが、誰が、どのように直すのか、自分たちで決めなければなりません。

住民が課題に対して熟慮するとともに、それについて議論を行う「熟議」がここから始まります。「熟議」は政治の動きを助けるための手法でもあるのです。生活をする地域ごとに課題が異なり、住民もさまざまです。誰が、何を、どのようにすることが地域にとってよいことであるのか、「熟議」によって示すことは、大いに必要とされるでしょう。

熟議は話し合いとは違うのですか？

課題について議論する重要性はご理解頂いただけましたか？

これまでも、学校の中で、あるいは職場や地域の中で、課題を解決するために話し合いをしてきた経験がおありだと思います。これは民主的な方法であり、正しいやり方と教わってきました。こうした、話し合いと「熟議」とはどこが異なるのでしょうか。

「熟議」は熟慮し議論するもので、熟慮が議論の前にあります。話し合いで出てくる新たなアイデアは貴重ですが、一方で、事前の情報が不足し、参加者が互いに認識を共有しないまま話し合いがおわったり、結論が必ずしも現実を反映していなかったり、ということもしばしばあります。

熟慮をすることで、課題を理解し、自分の考えを整理しておけば、実のある議論ができると思います。「熟議」は、そうした熟慮の段階を議論の前に持つことで、議論だけよりも、課題の解決や方針を立てることに近づくことができると考えられています。



「熟議 2014 in 兵庫大学」はどのように進められますか？

「熟慮の段階」、「議論の段階」、「共有の段階」、「振り返りの段階」、そして「活動の段階」の5つを基本としています。

(1) 事前に学習し認識を持ちましょう（熟慮の段階）

まず「熟慮の段階」の説明をいたします。「熟議 2014 in 兵庫大学」のテーマである、(1)加古川地域の防災・減災、(2)加古川地域の防犯、について皆様に学習し、熟慮して頂きます。ここでは、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の2市2町を「加古川地域」と定義していることをご了解ください。

熟慮のために、皆様にインターネットから「宿題」をお送りいたします。

① 「熟議 2014 in 兵庫大学」のページをご覧ください

下記アドレスにて、「熟議 2014 in 兵庫大学」のホームページをご覧ください。パソコンの他、スマートフォンからでもご覧いただけます。「兵庫大学」+「熟議」でも検索いただけます。

<http://www.hyogo-dai.ac.jp/jukugi/>

このページから、皆様に対して宿題を出し、また資料を提供します。必ず、それをご覧ください。

最初の宿題を同封しております（資料 B となっています）。回答はホームページからご回答ください。パソコンやスマートフォンをお持ちではなく、ホームページをご覧になることができない方は、同封しております回答用紙をご利用の上、アンケートと一緒にご返送ください。最初の宿題は、当日に議論するテーマを決めるためのものです。しっかり読み、熟慮し、テーマを選び、その理由を添えてご回答ください。

② アンケートにご回答ください

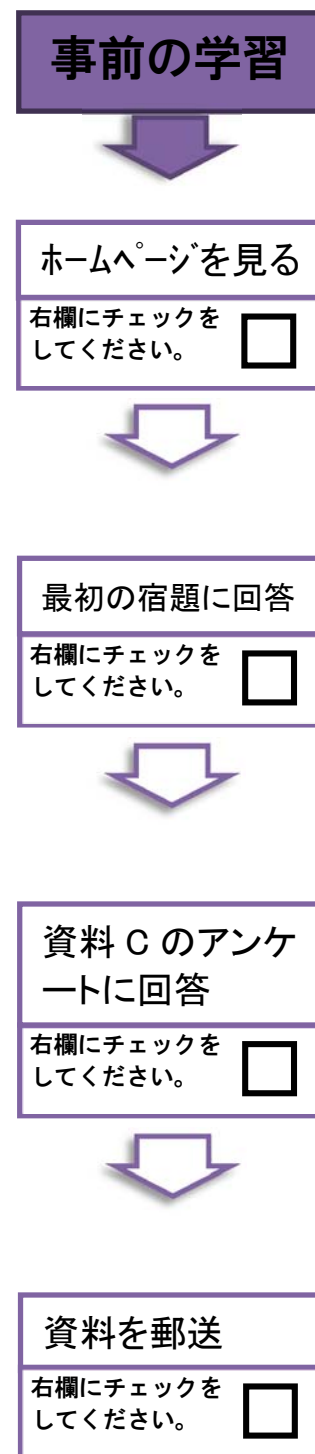
これらを済ませた後、資料 C 『熟議 2014 in 兵庫大学』参加者・アンケート」にご回答ください。記名アンケートですが、集計を致しますので、個人情報が流出することはありません。

③ 資料を郵送してください

以上、すべての作業が終わりましたら、資料 C 『熟議 2014 in 兵庫大学』参加者・アンケート」を返送用封筒でご返送ください。なお、ホームページをご覧になれない方は、資料 B も同封してください。

④ 今後の宿題はホームページに掲載されます

今後も、熟慮のために宿題を出します。これらはホームページに掲載されます。その場合、回答はメールにてお願いを致します。またご質問なども随時、ホームページから受け付けております。是非ともご活用ください。



(2) お互いの認識を出し合い、議論をしましょう (議論の段階)

それぞれの方が熟慮をした結果を一つの場に持ちより、それを開示し話し合う「議論の段階」となります。

11月24日(祝日)に会場となる兵庫大学5号館にお越しください。その際には、この「資料A」、その他各自で必要と思われる参考資料をお持ちください。

会場では、指定されたテーブルにおつきください。申し込みの際、申告を頂きました「地の人」「風の人」を踏まえてのテーブル配置になっております。

議論の進行は、ファシリテーターを務める学生が行います。どのように議論を進めればよいか、不安をお持ちにならなくても大丈夫です。あなたは熟慮をされて議論に臨むのですから。

議論では、「資料B」の宿題に出したテーマから、皆様からの回答を踏まえ、(1)加古川地域の防災・減災、(2)加古川地域の防犯、について、それぞれ1つのテーマについて議論をします。

議論



本資料を持参



議論に参加

右欄にチェックをしてください。

(3) 議論の結果や結論を共有します (共有の段階)

各テーブルでの議論が終われば、その結論を参加者が共有するのが「共有の段階」です。

今回の場合、時に賛否が分かれるようなテーマで議論をして頂きます。そして、そうした難しいテーマであるがゆえに、解決をするためには発展的な結論が出ることを期待されます。

「地の人」「風の人」に分かれたテーブルから代表者が、結果を持ちより、それを巡って議論を深めます。代表者以外の方々は、それをアリーナからしっかりと聞き取ってください。

「地の人」「風の人」で結論の方向や考え方が異なるのであれば、「地の人」と「風の人」は対峙し、より深い議論をすることができます。意見が異なることを恐れてはいけません。恐れるべきは、そうした議論のできない社会なのです。

議論の共有



地の人、風の人に
分かれて議論

右欄にチェックをしてください。



議論をしっかり
聞く

右欄にチェックをしてください。

(4) 仲間づくりと自分の成長（振り返りの段階）

さて、議論の共有も終わりました。皆様一人一人の心の中で、地域づくりへの認識はどのように変わりましたか。振り返るため熟議当日『熟議 2014 in 兵庫大学』参加者・アンケート（事後）」にご回答ください。

もう一つ重要なことが、「熟議 2014 in 兵庫大学」の成果を発揮するための仲間づくりです。これから活動を共にする仲間を見つけてください。

振り返り



事後のアンケートに回答

右欄にチェックをしてください。

(5) 今後の活動（活動の段階）

今回開催した「熟議 2014 in 兵庫大学」での仲間とともに、その成果を今後の地域での活動を行うことが大切です。それぞれの立場で、それぞれの考え方をもち、共に活動することが、熟議の最大の成果となります。兵庫大学・兵庫大学短期大学部は、そんなあなたをこれからも応援します。

今後の活動



活動を行う

右欄にチェックをしてください。

氏名 _____

以下の設問にお答えください。皆さんのご意見を基に当日のテーマを決定します。

なお、それぞれのテーマに関する説明は、別紙の「テーマ概要」をご覧ください

①「防災」についてあなたが熟議したいテーマを1つ選択し、□に✓してください。

- 1. 事前復興にどこまで力を入れるべきか
- 2. 情報保障のために何をすればよいのか
- 3. 安全・危険の判断は誰がすべきか
- 4. 人口減、財政難の中で防災をどうするのか
- 5. 大規模災害時、各自で避難することができるのか

あなたがそのテーマを選択した理由をお聞かせください

選択したテーマに対するあなたの考えを聞かせてください。

裏面へ進んで下さい⇒

② 「防犯」についてあなたが熟議したいテーマを1つ選択し、□に✓してください。

- 1. 防犯カメラは必要か
- 2. 防犯コミュニティづくりには何が必要になるのか
- 3. 被害者を生まない地域の環境づくりは可能か
- 4. 割れ窓理論に基づく地域の防犯対策は有効か
- 5. 罪を犯さなくてもよい社会を地域から作ることができないか

あなたがそのテーマを選択した理由をお聞かせください

選択したテーマに対するあなたの考えを聞かせてください。

ご協力ありがとうございました。今後熟議ホームページ上で熟慮を進めて参ります。インターネット（スマートフォン）をご覧いただけない方で郵送を希望されるかたは下の□に✓を入れてください。

郵送を希望する

■防災について

1. 事前復興にどこまで力を入れるべきか

大規模な災害が起こる前に、発生する事態を想定し、発生後の応急対応や復旧・復興に必要な体制をあらかじめ整備・構築する平常時での取り組みのことを事前復興と呼びます。そのためには、避難を円滑にし、救助車両を走りやすくするための道路拡張や延焼を防ぐ防火帯の設置などが必要となります。これらには個人の持つ土地を安く提供してもらったり、いつ起こるか分からない災害に備えて莫大な資金が必要になったりします。それだけのことが必要な事前復興にどの程度まで力を入れればよいのでしょうか。

2. 情報保障のために何をすればよいのか

災害時に適切な行動をとるためには、正確な情報が必要です。しかし障害を持った方や高齢者には正確に情報が伝わらないこともあります。情報が得られないために避難が遅れたり、復旧で不利になったりすることがないようにしなければなりません。とはいえ、全ての情報を得ることも、伝えることも難しいため、偏った情報だけが伝えられる可能性もあります。災害時の情報を選別し、地域住民で共有することが必要になるのですが、そのためにはどのような方法があるのでしょうか。

3. 安全・危険の判断は誰がするべきか

突然の災害に遭った人々は、住んでいる場所にこれ程の危険があることをなぜ教えてくれなかったのか、安全を守るのは行政の役割ではないのか、と思うことでしょう。また、土地の液状化で傾いてしまった家の持ち主は、造成した会社が安全な家を売らなかった、という思いを持ちます。自分が住む場所が、過去にどれだけの災害に見舞われたかを調べる人がいます。自分の身は自分で守る、危険の判断を自分がする、という思いです。行政、企業、自分…、安全・危険の判断は誰がするべきでしょうか、それは可能なのでしょうか。

4. 人口減、財政難の中で防災をどうするのか

地域の防災の重要な拠点となる消防署（常備消防と呼びます）は、人口の減少から統合され、また地方自治体の財政難から、人員が縮小されています。また住民がボランティア精神を基盤に地域の防災を担う消防団（非常備消防と呼びます）や水防団も人口の減少から、人員が不足しています。今後も人口減が進むならば、常備、非常備の防災のサービス水準が下がるかもしれません。自分たちで地域を守る消防団などを充実させ、常備消防を縮小するという考え方、逆に消防団などは不要という考え方もあります。人口も税金も少なくなる中、地域の防災をどのように進めればよいのでしょうか。

5. 大規模災害時、各自で避難することができるのか

岩手県には「津波てんでんこ」という言葉があります。津波がくれば肉親や知人のことも構わず各自で逃げなくてはならない、ということです。職場や学校で大規模な災害に遭った場合、自宅に戻らず、避難をすれば、自宅の家族はちゃんと逃げられたのか、学校が子どもをきちんと避難させてくれたのか、不安になります。不安を取り除き、住民同士、あるいはその場にいる同士で協力しながら、自らの命を自ら守るために、日ごろからどのようなことが必要になるのでしょうか。

■防犯について

1. 防犯カメラは必要か

あちこちで防犯カメラが設置されるようになっていきます。時にはそうした映像が全国ネットのテレビ番組で流されることもあります。いつの間にか、自分の姿が撮られ、誰かに見られていることがあるかもしれません。プライバシーや肖像権の侵害だけではなく、その映像がどこで誰に使用されるかわからない、という不安もあります、また防犯に役立つとされますが、犯行が撮影されても、犯人の逮捕や犯罪の立証に役立つだけで、抑止効果がないとの意見もあります。防犯カメラは本当に必要なのでしょうか。

2. 防犯コミュニティづくりには何が必要になるのか

見知らぬ人がコミュニティに入って来たときの備えとして、また何かあったら助け合うことができるようにと、近所の方の情報を共有したり、提供を受けたりすることがあります。さらに、近所同士がお互いに見守ることで安全を確保したいという動きもあります。ただ犯罪を防ぐためとはいえ、自分のプライバシーや個人情報が他人に共有され、互いを見守ることに抵抗を感じる人もいます。犯罪を防ぐために情報をどこまで共有すればよいのか、地域住民がどのように連帯するのが良いのか、その場合、どのような人々で集団を作ったりすることが望ましいのでしょうか。

3. 被害者を生まない地域の環境づくりは可能か

犯罪に巻き込まれたり、犯罪被害者を生み出したりしないまちの構造はどのようなものなのでしょうか。街灯が少ないため不安を感じる学生が多いことが聞き取りで明らかになりました。こうした安全のための設備の他にも、公園の木を伐採して死角を減らすこと、犯罪者が逃げづらいような道路の整備など建物や実際の環境を整備すること。さらに、信用できる限られた人しか入ることのできないコミュニティ（ゲートッドコミュニティ）を造ることなどで被害者を減らすことが可能でしょうか。

4. 割れ窓理論に基づく地域の防犯対策は有効か

割れ窓理論は、建物の割れた窓を放置するとその地域に誰も関心がない、とのサインとなり、やがて軽犯罪から重大な犯罪に発展するという理論です。軽微な犯罪を見逃さずに取り締まることの重要性を指摘したとされます。ニューヨークなどはこの理論に基づく対策で犯罪発生率を減少させる効果があったといわれますが、落書きや器物破損など、小さなことも見逃さずしっかりと指摘をして、犯罪の芽を摘むことが本当に地域の防犯に役立つのでしょうか。

5. 罪を犯さなくてもよい社会を地域から作ることができないか

犯罪は、不景気など社会が不安定になったりすると起こりやすくなりますが、生活にゆとりがなく「お金がほしくて、つい…」とか、子育てに疲れ「イライラしていて、つい子どもに…」など個々人の事情や心理もあります。そうした状況に陥らないように、個人が何らかの形で社会に関わり、社会の一員としての自覚を持つことができれば、犯罪に走らなくてもすむかもしれません。罪を犯さなくてもよい社会を考えたとき、例えば人を孤立にさせない、悩みを打ち明けることのできるような方がたくさんいる、など地域での活動から作ることが可能でしょうか。

「熟議 2014 in 兵庫大学」参加者・アンケート

この調査は記名式のアンケート調査です。「熟議 2014 in 兵庫大学」の開催に先立ち、テーマである安心・安全に対する考え方、熟議についての認識などを確認するために行います。ご回答は選択肢の番号を右欄に記入するか、欄に記述してください。

なお、当該調査票は兵庫大学にて厳重に保管し、統計的に処理をした結果のみを公表する予定です。調査票にご記入頂くお名前等は熟議の後に行う予定のアンケートとの照合を図るためであり、これらを他の用途に用いることはございません。ご理解の上、ご回答をお願いいたします。

当該アンケートの回答期限は平成 26 年 11 月 4 日 (火) です。返信用封筒にてご回答ください。ご多忙のおり、ご迷惑をおかけしますが、よろしくをお願いいたします。

1. お名前を下記にご記入ください。またお申し込みの際、「地の人」「風の人」のどちらにされたのか、丸で囲んでください。

お名前		私は 「地の人」 「風の人」 です。
-----	--	-----------------------

2. 学校生活や社会経験の中で、ワークショップや市民会議、グループ討議など「参加者が議論し、対策や方針を作成する」というご経験はありましたか。1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① 現在も多くの機会を経験をすることがある（年間5回以上が目安）
- ② 機会は少ないが、現在でも経験をすることがある
- ③ 以前には経験をしたことがあるが最近はない
- ④ これまでほとんど経験をしたことがない

3. 「参加者が議論し、対策や方針を作成する」という方法について、ご経験を踏まえ良い点と悪い点を次の一覧より1つずつ選び、それぞれ右欄に番号を記入してください。なお、良い点、悪い点がない場合、それぞれの欄は空白のままにしてください。

〈良い点〉

- ① 多様な考えを知る機会がある
- ② 少数意見も平等に扱われる
- ③ 決定した後の行動が容易である
- ④ 参加者の満足度が高い
- ⑤ わからない
- ⑥ その他 ()

〈悪い点〉

- ① 時間や労力がかかりすぎて非効率
- ② 議論だけではまとまらず決められない
- ③ 立場が上の人意見に影響されやすい
- ④ 感情的な対立が残ってしまう
- ⑤ わからない
- ⑥ その他 ()

4. この設問は社会人の方のみご回答ください。学生、高校生は、設問 5 にお進みください。
 グループ討議などグループで活動する場合、参加者が身につけておくべき資質は何でしょうか。例に従い、その重要度を 5 段階で評価をしてください。

	非常に 重要				全く重要 ではない
	5	4	3	2	1
【例】					
	5	4	3	2	1
①物事に進んで取り組む自主性					
②要点を把握し論理的に考える思考力					
③目標に向かって行動する実行力					
④状況に合わせて適切に対応する能力					
⑤人に働きかけ行動を促す交渉能力					
⑥相互理解のためのコミュニケーション力					
⑦課題解決をはかるための計画性					
⑧規律を守ること					
⑨チームをまとめ適切に運営する能力					
⑩チームに参画する貢献性					

5. 「熟議 2014 in 兵庫大学」への参加の以前から、熟議という言葉をご存知でしたか。

- ① 熟議の内容を含めよく知っていた
- ② 言葉では聞いたことがあった
- ③ 今回初めて知った

6. 「熟議 2014 in 兵庫大学」に参加しようと思われたのはなぜですか。次より 2 つ以内で選
 び右欄に番号を記入してください。

- ① 市民の議論により政策の方向を決する熟議という方法に関心があるから
- ② 地域の安心・安全というテーマに関心があるから
- ③ 大学が主催する事業に参加したいから
- ④ 地域での活動全般に関心があるから
- ⑤ 学校の先生や、属する団体の関係者から参加を勧められたから
- ⑥ 特に強い理由はないが、なんとなく参加をしたいと思ったから
- ⑦ その他 ()

7. 「熟議 2014 in 兵庫大学」の資料や説明、ホームページ等をご覧になり今回の熟議の進め方についてご理解をいただけたでしょうか。1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 十分に理解することができた
- ② 大体は理解することができた
- ③ あまり理解することができなかった
- ④ ほとんど理解することができなかった

8. 「熟議 2014 in 兵庫大学」での「議論の段階」において、あなたはどのことに最も大きな期待を持っておられますか。下記から1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 自分の意見を述べる機会があることへの期待が大きい
- ② 他の人の意見を聞くことへの期待が大きい
- ③ どのように議論が進むのか、進め方を知る期待が大きい
- ④ 結論や提案がどのようなものになるのか、結果の期待が大きい
- ⑤ 多くの人と交流したり話をする事への期待が大きい
- ⑥ その他 ()

テーマである加古川地域（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）の安心・安全について伺います。（安心・安全は、犯罪や災害などから身を守ることを取り上げています。）

9. 加古川地域における安心・安全について、あなたが課題と感じることは何ですか。下記の一覧よりあてはまるもの全てについて右の四角欄に○を付してください。

① 自転車の乗り逃げ、万引きなど軽犯罪が多い	② 危険ドラッグの販売など街中で犯罪を助長することが多い
③ 治安が悪くなったと強く感じるようになっている	④ 巡回パトロールなど住民による防犯への取組が少ない
⑤ 犯罪を予防するための教育や支援が不足している	⑥ 防犯灯など犯罪の抑制につながるインフラが不足している
⑦ 住民の災害に対する理解や防災意識が十分ではない	⑧ 企業や学校での避難訓練や防災のための教育が不足している
⑨ 助け合って災害から身を守るための仕組みが整っていない	⑩ 避難路や堤防など、防災のためのインフラの整備が遅れている
⑪ 災害ボランティアを受け入れる素地や経験がない	⑫ 地域コミュニティでの住民の結びつきが弱い
⑬ その他（内容をご記入ください）	

10. あなたは加古川地域で安心・安全についての活動（巡回パトロールや地域防災支援員、消防団など）に参画されていますか。下記から1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 中心となって活動をしている
- ② 活動に積極的に参加をしている
- ③ 義務や義理があって参加をしている
- ④ ほとんど参加をしていない

10-1 ①～③を回答された方は活動内容について下記欄にお書きください。

--

11.地域の安心・安全についての、下記のような考え方についてあなたは、賛成ですか、それとも反対ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

		大いに賛成	やや賛成	普通	やや反対	大いに反対
1	地域の安全を守るために、プライバシーが侵害されることがあっても仕方がない。	5	4	3	2	1
2	防犯のため、住民同士が互いを良く知り、互いに見守るような地域コミュニティを作る。	5	4	3	2	1
3	防犯は主に警察、自治体の仕事であり、住民の果たす役割は限定されている。	5	4	3	2	1
4	貧困の撲滅や個人の悩みの解消を助けることで、犯罪の無い社会を創ることができる。	5	4	3	2	1
5	防犯のため、犯罪予備軍とされる者や仮釈放や執行猶予中の者の個人情報積極的に地域に開示する。	5	4	3	2	1
6	安全なところで生活をしていないのは個人の選択と責任である。	5	4	3	2	1
7	災害に備え、助けを必要とする人の情報を日常的に収集し、住民が共有することは必要である。	5	4	3	2	1
8	防災や減災の整備などで一部の地域が消滅したり犠牲になることはやむをえない。	5	4	3	2	1
9	防災や減災は主に消防署、自治体、国の仕事であり、住民の果たす役割は限定されている。	5	4	3	2	1
10	大学は地域の安全や安心に対して大きな役割を果たすことができる。	5	4	3	2	1

12.あなたの性別と生年月日をお書きください。

性別		生年月日	年 月 日
----	--	------	-------

13.あなたのご所属先について1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① 高等学校（高校生） ② 大学（大学生） ③ 民間企業
 ④ 自治体・政府（公務員） ⑤ NPO・各種団体 ⑥ その他（ ）
 ⑦ 無職

--

氏名 _____

次のような状況を想定して、下記の設問に回答をしてください。

行政による最新の調査により、断層の地図が作成されました。その地図から、あなたが長年住み慣れている借家であるアパートの直下にも断層があることがわかりました。この断層が動くことで直下型の地震が発生します。とはいえ、地震が数年以内に起きるというわけではないようです。専門家の予測では、アパートの近辺では、震度6の揺れになるといいます。アパートは古いため、揺れにより破壊される可能性があります。

①今後10年間を考えた場合、同じアパートで生活を継続することについて、安全と判断しますか、危険と判断しますか。判断の結果とその理由をお答えください。

②その判断に基づいて、あなたは何らかの行動を起こされますか。その理由を含めお答えください。

裏面（防犯）へ進んで下さい⇒

次のような状況を想定して、下記の設問に回答をしてください。

ある高等学校の周辺のエリアで、痴漢事件が発生したため、PTA からの求めに応じ、その高等学校では生徒の安全を守るため学校の敷地内に、学校の周囲を見渡すことのできる防犯カメラを複数台設置しました。ある時、生徒が校則に違反し喫煙をしているところが、防犯カメラに映り、その生徒は停学の処分を受けました。

①生徒の安全を守る、という本来の目的とは異なり、生徒の校則違反の取り締まりに防犯カメラが使われたことについてあなたはどのように考えますか。お答えください。

②防犯カメラの情報の管理についてあなたの考えをお答えください。

ご協力ありがとうございました。こちらの用紙にご記入いただき、両面を兵庫大学へ FAX してください。

079-427-9552

なお、本用紙は「熟議」当日議論の参考資料としてくお持ちください。

「熟議 2014 in 兵庫大学」参加者・アンケート

長時間の熟議での議論、お疲れ様でした。

この調査は記名式のアンケート調査です。閉会後にご記入頂き、会場の出口に用意しております回収箱にお入れください。

アンケートは「熟議 2014 in 兵庫大学」の後、テーマである安全・安心に対する考え方や熟議に対する印象がどのように変化をしたのかを確認し、今後の本学での事業に活用するとともに、地域に関する政府、自治体への提言等に活用することをめざしております。ご回答は選択肢の番号を右欄に記入するか、欄に記述をしてください。

なお、当該調査票は兵庫大学・兵庫大学短期大学部にて厳重に保管し、統計的に処理をした結果のみを公表する予定です。調査票にご記入を頂くお名前等は事前に行いましたアンケートとの結合を図るためであり、お名前を他の用途に用いることはございません。ご理解の上、ご回答についてお願いいたします。

1. お名前を下記にご記入ください。

お名前	
-----	--

ここからは「熟議 2014 in 兵庫大学」に対しての皆様のご意見等について伺います。

2. 参加されて満足でしたか。1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① とても満足
- ② まあ満足
- ③ どちらともいえない
- ④ やや不満足
- ⑤ とても不満足

3. 「熟議 2014 in 兵庫大学」の経験を、今後の活動で活かしたいと思われませんか。1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 積極的に活かしたい
- ② 機会があれば是非活かしたい
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり活かしたいとは思わない
- ⑤ どう活かせばよいのかわからない

4. 「熟議 2014 in 兵庫大学」は、これまでご経験のあった話し合いやワークショップなどと比べどのように思われましたか。それぞれの設問について、1つに○を付けてください。

		非常に思う	思う	えんない どちうともい えない	あまり思わ ない	全く思わない
1	熟慮の段階があるため、自分の意見を整理することができ発言をし易かった	5	4	3	2	1
2	熟慮の段階があるため、他の人の意見も理解しやすく議論がスムーズだった	5	4	3	2	1
3	これまで経験してきた話し合いなどよりも、共通の基盤に立っての議論ができた	5	4	3	2	1
4	熟議を通して、テーマ（加古川地域）について、興味や関心がより高まった	5	4	3	2	1
5	議論の内容が充実しテーマに関する自分自身の知識などを深める機会になった	5	4	3	2	1
6	課題の解決に向けて、自ら実行することがより重要であるとの考えを持った	5	4	3	2	1
7	最初に自分が持っていた意見について変化をもたらすことになった	5	4	3	2	1

5. 「熟議 2014 in 兵庫大学」のように市民の行う熟議は、現在の行政でどのように役立つとお考えになりますか。それぞれの設問について、1つに○を付けてください。

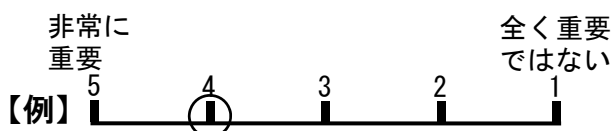
		非常に思う	思う	えんない どちうともい えない	あまり思わ ない	全く思わない
1	市民による熟議は、行政のさまざまな政策にも取り入れるべきである	5	4	3	2	1
2	熟議は、国が行うような大きな政策についてよりも、身近な課題について行う方が効果は大きい	5	4	3	2	1
3	熟議の後に調査を行うことで、政策について人々の意向（民意）を知ることができる	5	4	3	2	1
4	互いの利益がぶつかるような場面でも、熟議によって対立を避けることができる	5	4	3	2	1
5	熟議は少数派の意見が多数派にも影響を与え、多数決でものごとを決めるよりも民主的である	5	4	3	2	1

6. 「熟議 2014 in 兵庫大学」の議論の段階で、あなたにとってはどのような成果がありました

たか。最も近いものを下記から1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 自分の意見を述べることができた
- ② 他の人の意見を聞くことができた
- ③ どのように議論を進めるのか、理解することができた
- ④ 結論や提案を知ることができた
- ⑤ 多くの人と交流することや話をすることができた
- ⑥ その他

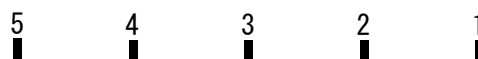
7. この設問は社会人の方のみご回答ください。学生、高校生は、次のページにある設問8にお進みください。 熟議での議論を踏まえ、議論を円滑に進めたり、結論を導いたりするために必要と思われる下記の資質それぞれの重要度について、5段階で評価をしてください。



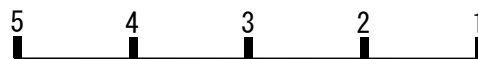
①物事に進んで取り組む自主性



②要点を把握し論理的に考える思考力



③目標に向かって行動する実行力



④状況に合わせて適切に対応する能力



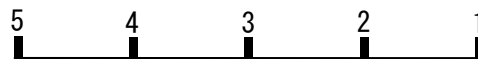
⑤人に働きかけ行動を促す交渉能力



⑥相互理解のためのコミュニケーション力



⑦課題解決をはかるための計画性



⑧規律を守ること



⑨チームをまとめ適切に運営する能力



⑩チームに参画する貢献性



8. テーマである地域の安心・安全についての、下記のような考え方についてあなたは、賛成ですか、それとも反対ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

		大いに賛成	やや賛成	普通	やや反対	大いに反対
1	地域の安全を守るために、プライバシーが侵害されることがあっても仕方がない。	5	4	3	2	1
2	防犯のため、住民同士が互いを良く知り、互いに見守るような地域コミュニティを作る。	5	4	3	2	1
3	防犯は主に警察、自治体の仕事であり、住民の果たす役割は限定されている。	5	4	3	2	1
4	貧困の撲滅や個人の悩みの解消を助けることで、犯罪の無い社会を創ることができる。	5	4	3	2	1
5	防犯のため、犯罪予備軍とされる者や仮釈放や執行猶予中の者の個人情報積極的に地域に開示する。	5	4	3	2	1
6	安全なところで生活をしていないのは個人の選択と責任である。	5	4	3	2	1
7	災害に備え、助けを必要とする人の情報を日常的に収集し、住民が共有することは必要である。	5	4	3	2	1
8	防災や減災の整備などで一部の地域が消滅したり犠牲になることはやむをえない。	5	4	3	2	1
9	防災や減災は主に消防署、自治体、国の仕事であり、住民の果たす役割は限定されている。	5	4	3	2	1
10	大学は地域の安全や安心に対して大きな役割を果たすことができる。	5	4	3	2	1

今回の熟議についてお気づきの点、ご意見等ご自由にお書きください。

ご協力、ありがとうございました。

自己認識シート(事後評価)

学校名		
科・コース	学年	年
氏名		

※下記に示された各能力に対し、今のあなたに当てはまると思われる「④レベルの欄」の1～5を○で囲んでください。

①能力	②能力の説明	③「できること」の具体例	④レベル				
			かなり自信がある	自信がある	ふつう	あまり自信がない	まったく自信がない
自主性	物事に進んで取り組む力	<input type="checkbox"/> 自分の目標や課題を定め、進んで取り組むことができる <input type="checkbox"/> 物事に対して、興味や関心をもって意欲的に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 困難なことでも前向きに取り組むことができる	5	4	3	2	1
思考力	問題の要点を把握して、根拠をもとに論理的に考える力	<input type="checkbox"/> 現状を正しく理解するための情報収集や分析ができる <input type="checkbox"/> 物事の原因と結果を区別したり、問題の背景を考慮することができる <input type="checkbox"/> 問題を解決するために見通しをもって、順序立てて考えることができる	5	4	3	2	1
実行力	目標に向かって行動する力	<input type="checkbox"/> 自分の考えをもち、それらを確実に実行することができる <input type="checkbox"/> 設定した目標達成に向けて粘り強く取り組むことができる <input type="checkbox"/> 困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる	5	4	3	2	1
対応力	状況を判断して関係や流れがうまくいくように行動する力	<input type="checkbox"/> 相手やその場の状況を配慮しながら、柔軟に対応することができる <input type="checkbox"/> 自分の役割と他者の役割を的確に判断し、取り組むことができる <input type="checkbox"/> 物事が良い方向に流れるよう、まわりに働きかけることができる	5	4	3	2	1
交渉力	人との関わりを踏まえ、働きかけて相互理解へ導く力	<input type="checkbox"/> 取り決めのための話し合いの場を持ち、合意をめざすことができる <input type="checkbox"/> 協力することの意義や理由を、相手に対して明確に伝えることができる <input type="checkbox"/> 周囲の人に対して効果的に働きかける手段を活用できる	5	4	3	2	1
会話力	相手と意思疎通(そつう)を図る力	<input type="checkbox"/> 自分の意見を具体的にわかりやすく伝えることができる <input type="checkbox"/> 相手の意見を丁寧に聞き、素直に受け止めることができる <input type="checkbox"/> 相づちや共感により、相手に話しやすい状況を作ることができる	5	4	3	2	1
計画力	現状を把握し、解決に向けて筋道を立てる力	<input type="checkbox"/> 実現のために段階ごとになすべきことを把握することができる <input type="checkbox"/> 作業の過程を明らかにし、優先順位をつけて計画を立てることができる <input type="checkbox"/> 必要に応じて他者の意見も積極的に計画に取り入れることができる	5	4	3	2	1
規律性	社会のルールや人との約束を守る力	<input type="checkbox"/> 社会のルールやマナーの必要性を理解し、それを守ることができる <input type="checkbox"/> 他者に社会のルールやマナー、また約束を守るように促すことができる <input type="checkbox"/> 異なる立場を理解しながら社会のためのルールや約束を結ぶことができる	5	4	3	2	1
運営力	違う立場の人々の集まるチームを適切に運営する力	<input type="checkbox"/> 自分の意見をもちつつも、他者の意見や立場も理解することができる <input type="checkbox"/> チームの目的を明確にして、メンバーに働きかけることができる <input type="checkbox"/> 異なる立場の人々とも力を合わせて物事を達成することができる	5	4	3	2	1
貢献性	社会の担い手として役割を自覚して、参画する力	<input type="checkbox"/> 地域や社会に参画することの意義や役割について理解している <input type="checkbox"/> 地域や社会に参画して、自分の役割を果たそうとする意志がある <input type="checkbox"/> 地域や社会の担い手として、使命感をもった取り組みができる	5	4	3	2	1

熟議終了後の学生同士のグループワーク

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

熟議への参加、ご苦勞様でした。これから振り返りのためのグループワークを行います。ワークショップ方式で話し合いをしましょう。

話し合う内容

①グループでは意見を大いに出し合い話したいことを全て話すことができましたか

②参加したメリットはどこにありましたか

グループワークとその発表の終了後、裏面のアンケート調査にお答えください。

